

令和6年度 第1回加西市総合教育会議 会議録

1 開会日時 令和6年6月25日(火) 15時30分

2 閉会日時 同日 16時40分

3 開催場所 加西市 5階大会議室

4 出席委員 市長 高橋晴彦
教育長 菅野恭介
教育長職務代理者 沼澤郁美
委員 楠田初美
委員 中川和之
委員 深田英世

5 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

政策部部長	深江克尚
政策部 政策課長	柿本尚一
政策部 政策課係長	谷口成俊
教育委員会事務局 教育部長	伊藤勝
教育委員会 次長兼教育総務課長	井上英文
教育委員会事務局 学校教育課長	小坂卓司
教育委員会 こども未来課長	阿木博信
教育委員会 こども未来課主幹	井芹明美
教育委員会 総合教育センター所長	三村尚彦
教育委員会 学校再編室長	中井孝浩

6 傍聴者 一般：3名、報道機関：0名

7 協議事項

(1) 小・中学校の進捗状況について

(2) 学校施設跡地の活用について

8 その他

9 会議内容

別紙のとおり

会議録

次第

- 1 市長挨拶
- 2 教育長挨拶
- 3 協議事項

(1) 小・中学校の進捗状況について

〔意見・質疑〕

市長 学校再編は非常にタイトなスケジュールでやっていくことになる。また、スクールバスについては、当初、統合学校だけで考えていたが、近年の異常気象で地域から不安の声をいただいております、遠距離通学の児童もいる状況を踏まえ、全市的にバス輸送調査を行うための補正予算を提案している。令和7年度は全市的に試験運行を行い、泉小学校は令和8年度から本格運行となる。また、1台のバスにつき2ルートの実行となることから、通学時間に30分の差がでると事務局から説明であったが、限られたバスの便数から1時間程度の差がでるかもしれない。遅れることについても考えていかないといけない。具体策がでてきたときには、地域と協議していきたい。運転手の問題もあるが、出来るだけ令和7年度の早い段階からできるように進めていく。工事関係については、1日でも早くしてほしいと市民から意見を聞いている。泉地区の小学校が統合するとクラス数はどうなるのか。

教育長 統合した時点で1年生は1クラスの可能性が高い。

市長 教師が不足しているということも聞いており、市民からは早く進めてほしいという声を聞いている。各地区での統合スケジュールを早めることはできないか。

委員 市長が言われていることは、ごもつともであるが、統合は2年ごとに進めるべきと考える。教職員の人事上の問題も睨みながら、担当課の業務負担や人員配置のことを思えば、今のスケジュールのままで良いと思う。

市長 一方で、担任がいなかったという話も聞いている。

教育長 統合すると、かなり人員を削減することになる。1年ごとの統合で、他市町に異動してもらうのも難しいので、ある程度の間隔をもってやらないといけない。一番、足りていないのは臨時講師であり、泉地区の統合により臨時講師に余裕ができる。

市長 今日、国から補助金の内示がでてきているようだが内容は何か。

事務局 体育館の空調と校舎の改修に対する補助で、現時点では予算計上していないもの。

市長 市の空調設備でも受電設備から整備することになると4,000万円から5,000万円となり市だけでは財政負担が大きく、これが11校になると5億になる。学校統合整備については国からの補助金がでるので、そういったものも活用して進めていく。

委員 6月20日の泉統合小学校開校準備委員会を見させていただいたが、スクールバスの検

討が思った以上に進んでいるという印象である。スクールバスのタイムラグが30分出る件、スクールバスのコースの件等、もっと検討に時間がかかるものと思っていた。

市長 泉では、その点に絞っての話をさせていただいた。協議会の意見が少ないと感じている。委員それぞれに意見を持っているはずで、委員長から委員へ意見を求める等、進め方を工夫する必要がある。

委員 協議会をひっぱっていくような委員が一人おれば、意見も出しやすくなると思う。

委員 1人の方から意見が出たら、その後、皆が意見していた。

市長 1人目は意見が言いにくいところがあるので、そのあたりは事務局の方で進め方を検討していただきたい。また、発言内容が新聞の記事になると意見も言いにくくなる。

教育長 そういう意見もあり、記事に載る際には、教育委員会で了解をとってもらっている。

市長 活発な議論ができるようにしてもらいたい。

教育長 スクールバスのタイムラグの件だが、あまりにも時間が空くと、児童が早く学校に来てしまうと、教員が対応できず事故にも繋がる可能性がある。大阪では、その時間に対応する人を別で雇っている。どれくらいの時間ならどうするのが良いのかは、これから検討していく。

市長 全市的にスクールバスを導入すると、かなりの数になるので、調査結果を見て判断していくことになる。予算もかかってくる話なので、運行調査の結果を確認して考える。

(2) 学校施設跡地の活用について

[意見・質疑]

委員 民間事業者から購入してもらう場合は、既存の施設を残してもらう条件付きで購入してもらうことになるのか。

市長 そういった条件も考えられる。大きな目的は住宅開発で、運動場の使い方の話になるが地域の意見をもらいながら進めていく。タウンミーティングについては、7月・8月は泉地区、他の校区については11月・12月に開催する予定であり、叩き台を示したうえで、意見を聞いていく。1万1千人の人が加西市に勤めにきており、そういった人が加西市に住めるよう、民間のノウハウを使って整備していきたい。

委員 運動場は平地で利用しやすいが、建物については市長が言われるように「指針」がある方が進みやすいと思う。

市長 様々なアドバイスをいただきながらお示ししていきたい。建物については、社会教育の施設、ふれあいの場としてのイメージは持っている。また、住宅については1戸、2戸ではなく、20戸ほどの集合住宅でないと人は来ないと考えている。例えば、グラウンドゴルフ場では人が来ないので、民間の知恵を使って、また地元の意見を聞きながら進めていく。

委員 西在田小学校や宇仁小学校は、地域交流施設として十分に使えるが、日吉小学校は古く、3階建てであり、何に使えるのかと思う。他市では水族館を入れるという奇抜なこともされており、また、佐用町では、こんにやく作り体験ができる施設もある。利用の仕方は様々で、また、それぞれ地域の拠点であり、地域活性化にも十分なり得るので、地域の特色を活かして民間のノウハウも入れながら進めてもらいたい。

委員 最近、市内で渋滞をよく見るが、勤め先から市外に帰られているのを見ると、何とか加西市に住んでもらえないかと思う。市内で工業団地の整備も進めているし、学校も古民家として使うとか何かアイデアがないかなと思う。

市長 アンケート調査の結果から、職場の近くに住みたいという意見もある。西高室地区も住宅団地整備を行った結果、現在では子どもが105人おり活気がある。団地に入ってきた人に聞くと、大勢いるところの方が地域で支え合い住みやすいという。学校の跡地活用は難しい問題であり、小学校がなくなったらその校区がなくなると不安の声も聞いているが、地域が主体なので、昔ながらの塊は大事だと思っている。地域の声を聞きながらやっていきたい。今後も特に社会教育の観点から、委員からもご意見をいただきたい。

4 その他

市長 6月議会の一般質問でもあったが、「スポーツ大会」「音楽会」「研究発表会」がなくなったということで、その状況を確認させていただきたい。評価は学力だけでなく「スポーツ」等も重要である。

教育長 現状、学校の規模が小さいことから、学校対抗でやるのが難しくなっている。学校再編が進んでくると学校規模が大きくなるので、そういう意味で再開できると思う。ただ、教員の働き方改革の観点から言うと、スクラップアンドビルドで進めてきているので、新たな業務が増えることになるので、単純に学校が大きくなったから再開するという考えはない。ただ、方法は色々あり、加西市のミニバスケット協会が加西市体育大会に学校対抗でチームを出して開催しているが、これは、加西市のミニバスケット教室にきている子ども達を核にして、その子ども達と保護者が核にして、それぞれの小学校で友達を集め、小学校単位で出場している。この場合、学校の先生は何かをしないという訳ではなく、監督は保護者がやっているの、学校現場の負担がかからない。部活動も地域移行と言われており、地域の力や保護者の力、各スポーツ協会を核にして広げていく。そこに学校の先生も参加していただくということも考えている。

働き方改革に逆行せず、みんなが納得できる形で考えていきたい。「兵庫リレーカーニバル」で加西市の子が全然出てないという声を聞いた。理由があっても、出てないということに対して、負のメッセージとなってしまうと、教育ががんばっていることに対し理解いただけない部分もあるので、ちゃんとメッセージを出せるように作っていきたい。

委員 コロナ禍になる前は、加西市子供会連合協議会でドッジボール大会が開かれており、

唯一の学校対抗戦だったと記憶している。もうそういった大会はもうないのか。

市長 北播の駅伝大会で、善防中学校で行われているが加西市の出場が少なく、せっかく加西市で公認コースを使ってやっているのに、負のイメージがついてしまう。教育をがんばると言っているけど、そういった所から評価が下がる。加西市は絵画では、よく入賞して評判は高いが、スポーツ面が弱いと感じている。

委員 今はクラブチーム対抗でやっているのだから、そういう方法もある。ただ、参観日と重なっている。

教育長 他市町に確認すると、小野市は、すごい選手が出ており、地域全体がそういう選手がでるものだと思っており、そういう日に参観日が重なると怒られるので、参観日をずらしている。普段先生が頑張っていることが、言われることによってマイナスにならないように、どういう風にしたら、そういった大会に出場させられるかを考えることが私たちの仕事だと思う。できるだけ、クラブチームや協会、保護者を含めて、加西市の独自のものを作っていたらいいと思う。

委員 加西市の範囲を超えてやっていくものか。

教育長 小学校は特になく加西市の範囲でやっていくが、リレーカーニバルは兵庫県となる。

委員 それを賛同してくれる人がいるかどうかだと思う。

教育長 誰かがそれをコーディネートしていく必要がある。学校、地域の人等どうするのかを教育委員会で考えていく。

委員 魅力ある指導者がおれば、子どもの成長も早いので、そういう人を採用していくのが大事と思う。

教育長 今年、北条中学校が駅伝の近畿大会で準優勝したが、これはとんでもないことである。小野高校に行っている北条中学校出身の子が高校で近畿大会優勝したが、これは更に凄いことで、それはとんでもないレベルである。やはり、そういう子がおり、また指導される方も北条中学校では2人実績のある方がおり、良い指導をしてもらっていることで結果がでている。そういう方がどんどん参加していただけたらと思っている。

市長 学校へのクレームの状況はどうか。スクールロイヤーの導入は必要か。

事務局 今は常駐のスクールロイヤーまでは必要ない。総合教育センターで弁護士と契約しており相談するところはある。

市長 クレームが複雑化してきており阪神間ではスクールロイヤーを配置して負担軽減となっているが、加西市はまだそこまでいっていないのであれば良い。また、こども園の方でモラルが低い方がいると聞いているが、現場の方の状況はどうか。

事務局 濡れたおむつのままで登園させる保護者がいるという話かと思うが、そんなに多いとは聞いていない。0～2歳で保育料無料化を行っているのだから、おむつをしている年代は多くなっているのだから割合が増えているが、公立園に関しては極端に酷くなっていることは聞いていない。

市長 そういう声が出ることで、現場に負担がかかる。配置基準 30 対 1 を低くすることができないか。

事務局 4 月から国の方で 4、5 歳の配置基準を 30 から 25 へ変更している。現状の公立園の担任の配置をその形に合わせて変更している。

市長 保育士の確保が難しいと聞くので、30 対 1 より 25 対 1 の方に流れてしまうので、そのあたりも研究していただきたい。保育士の確保状況はどうか。

事務局 加配の会計年度任用職員が厳しい状況である。

市長 幼児教育というのは特に重要だと認識しているのでそういう点を確認させていただいた。委員の方から何かあるか。

委員 保育士の働き方改革の他市事例で、保育園で作られている学級だよりを職員室のパソコンだけでやっていたのを、1 人 1 台のタブレットを導入したところ、仕事を家に持って帰らなくても済むようになった。子どものお昼寝時間で作成ができるようになり時間短縮となった。タブレット導入を検討してみてはどうか。

委員 子どもの運動量が減っており、体幹が弱くなってきており、転んでも手をつかない子ども達が増えている。午前中の園見学で、体力づくりに取り組んでいる様子が見られた。

委員 近場の地域で遊ぶことも少なくなっている。また、熱中症のこともあるので、今後の体力面のことについて宜しく願います。

教育長 炎天下の中、園外で遊ばせるには熱中症対策として、園庭に大きな日陰になるものができたらと思う。

市長 また予算の関係する第 2 回にも聞かせていただきたい。大型事業が控えているので、協議しながら調整させていただきたい。